

公益財団法人ひろしまドナーバンク

平成27年度事業実施報告書

本年度は、昨年同様に従来活動を踏襲しながら、財政基盤の充実を図るため「ドナーバンク支援自販機」の設置拡大による収入確保と事務費圧縮に尽力し、運営並びに活動に取り組んだ。

献眼に関しては、前年度に比べると広島県において献眼数は24名と増加し、さらに保存眼を含めて当初のあっせん目標額を達成した。しかしながら、全国的にはここ3年間の献眼数は減少傾向となっており、本年度は更なる献眼推進運動への協力と理解を深めるため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を東西地域において2回開催した。

また、骨髄ドナー登録については、相変わらず登録者の伸び悩みの状況が続いており、広島県においては少しずつではあるが3年連続して新規登録者が増加している。本年度は固定施設での登録会の開催に取り組むほか、「広島国際大学しずく」に加え、新たに「山陽女子短期大学」の学生が新規説明員になるための講習会を開催し、協力体制の強化に取り組んだ。

献腎を含めた臓器提供に関しては、広島県では脳死下での臓器提供が1件という状況にあり、中四国地方においても脳死下、心停止下での献腎件数は減少傾向を示している。

普及啓発活動には従来活動に加えて、広島県行政や院内コーディネーター、ライオンズクラブ、骨髄バンク説明員の協力のもと、3つの事業が一体となって、提供・移植に関する体験談等の具体性のある出前講座の開催やメディアを活用し、移植医療に関する正しい情報と理解を促進することを盛り込むことが重要であるものと考えることから、広島県と広島市の協力のもと、「いのちの学習会」のチラシを県下に配布をお願いした。

本年度は次のような具体的な活動を行った。

I. 管理部門

従来同様ライオンズクラブ等の支援団体などからの寄附金及び眼科医療機関等に設置して頂いている募金箱からの浄財により事業に取り組んだ。また、「ひろしまドナーバンク支援自販機」の設置台数が減少するなか、新たに「新医師会館」へ1台、「広島大学病院内」へ1台と「市立三次中央病院」に2台増設していただいた。その他、高額寄附者には感謝状を贈呈した。

1. 一般寄付金

8, 622, 108円

ドナーバンク支援自販機(下記内訳のとおり)	3, 043, 087円
ライオンズクラブ国際協会336-C地区 様	3, 000, 000円
竹田 欣史 様	1, 000, 000円
三嶋 弘 様	400, 000円
広島大学消化器・移植外科 様	110, 000円
信谷 ヨシイ 様	100, 000円
松崎 睦子 様	100, 000円
大石 雅之 様	100, 000円
広島市医師会(チャリティゴルフ大会) 様	90, 000円
高陽中央病院眼科 様	83, 000円
ひがき眼科 様	57, 000円
中野 美智子 様	40, 000円
吉貴 弘佳 様	35, 000円
中野 富貴子 様	34, 000円
社会貢献自販機(紙コップ)	34, 469円
近間 泰一郎 様	31, 520円
武安会計事務所 武安 紘二 様	30, 000円
サノフィ(株) 様	30, 000円
帝人ファーマ(株) 様	30, 000円
CSLベーリング(株) 様	30, 000円
はしもと眼科 様	28, 500円
吉野 陽子 様	27, 700円
広銀ボランティア口座(72件)	22, 782円
中外製薬(株) 様	20, 000円
しらね眼科 様	18, 000円
みぞて眼科 様	18, 000円
保久早苗 様	15, 000円

藤堂眼科医院 様	15,000円
アステラス製薬(株) 様	15,000円
社会法人さんよう 様	12,550円
わたなべ眼科 様	12,000円
旬の会 木村 亘 様	12,000円
井之川眼科 様	11,500円
しんや眼科 様	4,000円
坂 井 進 様	3,000円
田 頭 孝 通 様	3,000円
加藤 尚・加藤 良隆 様	3,000円
安川眼科医院 様	3,000円

○ドナーバンク支援自販機による寄附金 3,043,087円

設 置 場 所	台 数	金 額
広島県医師会館（1階）	1台	30,920
広島大学病院敷地内 （第3中央診療棟・広仁会館・霞体育館・喫煙所・管理棟2階）	5台	1,500,544
※株式会社ニシキタクシー	1台	119,298
J A広島総合病院	1台	7,697
中国労災病院	1台	402,514
ペットショップ高山	1台	8,192
★木村眼科内科病院（1階・4階ロビー）	2台	344,710
三次中央病院（救急病棟・夜間休日入口・外）	3台	81,957
★つまもと眼科	1台	24,757
安佐医師会館	1台	5,739
安田病院	1台	140,399
荒木脳神経外科病院	1台	19,757
二階堂眼科	1台	93,396
松村循環器外科	1台	14,321
大成建設（広島医師会館現場）	0台	231,980
広島スカイクリニック	0台	16,906
合 計	21台	3,043,087

注）※印は通常の自販機、★印はアイバンク仕様の自販機、それ以外の自販機は臓器用のネットワーク仕様のもの

2. 募金箱（37施設） 874,763円

施設名	金額	施設名	金額
しみず眼科医院	70,693	岸本眼科・海田市薬局	14,719
石田眼科医院	65,917	眼科日山医院	14,560
井上眼科医院	61,389	まつなが眼科	13,782
木村眼科内科医院	48,571	あんどろ眼科	13,710
ひとみ眼科	45,745	藤武眼科	13,292
かたぎり眼科	42,029	小島病院	13,216
二階堂眼科	42,006	加藤眼科	13,150
藤原眼科	40,140	山中眼科医院	13,130
井之川眼科医院	39,487	奈良井眼科	11,402
八本松病院眼科	37,419	山代眼科医院	10,792
竹田眼科医院	30,622	つるが眼科	10,182
森本医院	28,800	本郷中央病院眼科	9,089
岡田眼科医院	24,037	ひらた眼科	7,638
みはら眼科	22,228	たんきょう眼科	7,363
古吉眼科医院	21,305	平田眼科医院	5,290
土谷総合病院	20,326	尾道クリニック	4,785
高山眼科	18,955	木阪クリニック	3,020
阿品土谷病院	18,538	藤井眼科	1,575
藤武眼科	15,861		

3. 賛助会員 2,986,000円

法人会員 163口（1,630,000円）

個人会員 452口（1,356,000円）

II. 事業部門

1. 献眼移植のあっせん事業

1) 角膜提供者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第1号）

- ① 例年同様献眼についての啓発・普及用のポスター、パンフレットを購入或いは作成し、広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保を通じての献眼推進運動を展開した。

- ◎献眼ポスター 300部購入（日本アイバンク協会）
 - ◎献眼パンフレット 20,000部作成
 - ◎献眼登録申込書 0部（在庫分で対応）
- ② 各地のライオンズクラブが実施する献眼推進運動にパネル、幟の貸し出しを行った。
- ◎パネル利用状況 角膜 7回 腎臓 1回
- 廿日市 LC(4/3～6)、呉ブルー LC(4/13～17)、呉うるめ LC(4/27～30)、福山松永 LC(9/19～24)、竹原 LC(10/1～5)、目の健康講座(10/4)、三原浮城 LC(10/23～26)、呉安浦 LC(11/13～16)、
- ◎のぼり利用状況 5回
- 廿日市 LC(4/3～6)、呉ブルー LC(4/13～17)、呉うるめ LC(4/27～30)、山県加計 LC(5/15～18)、福山松永 LC(9/19～24)、
- ③ ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を東部と西部の2回開催した。
- ア 日本アイバンク協会認定サポーター講習会
- 日 時：平成27年12月10日（木）午後2時～
- 場 所：ベイタウン尾道 大会議室
- 出席者：受講者49名＋役員
- イ 日本アイバンク協会認定サポーター講習会
- 日 時：平成27年12月17日（木）午後2時～
- 場 所：広仁会館 2階 大会議室
- 出席者：受講者56名＋役員
- ④ 広島県眼科医会主催の「目の健康講座」に参加し、パネル展を開催し、スライドを使用し献眼についての情報提供を行うほか、日本アイバンク協会普及啓発DVDを上映し啓発に努めた。
- 「目の健康講座」（10/4）
- ⑤ 出前講座により、献眼・角膜移植に関する普及啓発を行った。2回
福山平成 LC（9/16）、広島市中区医師会病診連携総会（10/7）

2) 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第2号）

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、角膜の障害による患者からの募集登録を行った。

本年度も登録及び管理業務は直接バンクが担当した。

広島県の献眼登録者 **31,201名 (174名増)**

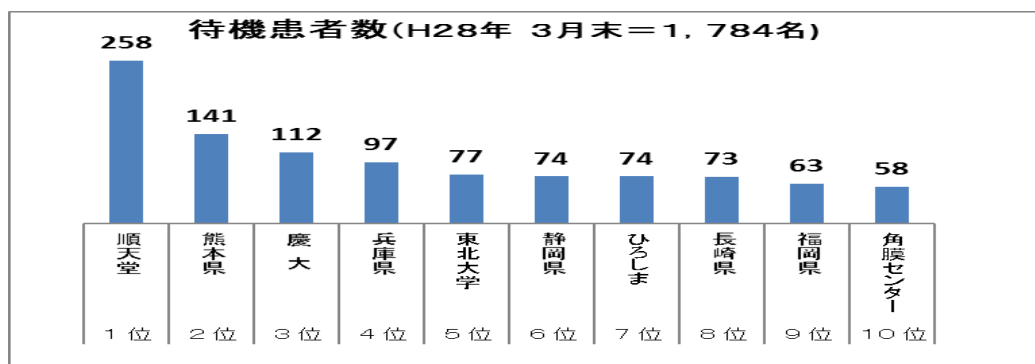
前年度末登録者数	31,027名
新規登録者数	368名
献眼者数	24名
取消数(転出・死亡等)	170名
3月末登録者数	31,201名

【全国総数=1,244,880名、全国第12位】

広島県の角膜移植希望者 **74名 (74眼)**

前年度末手術希望者数	66名 (66眼)
新規手術希望者数	45名 (45眼)
移植角膜数	37名 (37眼)
希望取消数	0名 (0眼)
3月末手術希望者数累計	74名 (74眼)

【全国総数=1,967名、全国第8位】



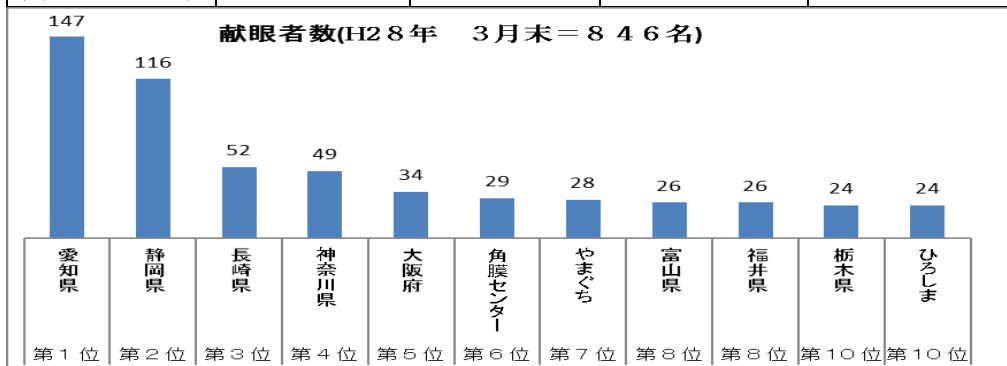
3) 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業 (定款第4条第4号)

本年度ご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼を含み県内2施設と県外8施設にあっせんした。

- ① 献眼数 **24名 48眼 (保存眼 9眼)**
- ② あっせん数 **45眼 (前年度保存眼6眼、県外から0眼)**
- ③ あっせん先
 - ア 県内 (37) ; 広島大学病院 (25)
 - 木村眼科内科病院 (12)
 - イ 県外 (8) ; 大阪 (1)、鳥取 (3)
 - 福岡 (1)、東京 (3)

◆【全国及び中四国地方の献眼状況】（平成28年3月末）

献眼者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
全 国	891	927	880	846
鳥 取 県	2	1	1	0
島 根 県	8	9	5	7
岡 山 県	8	3	1	6
広 島 県	17	19	16	24
山 口 県	14	20	16	28
徳 島 県	1	3	3	0
香 川 県	8	1	3	1
愛 媛 県	3	3	9	4
高 知 県	2	4	2	2



4) 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対して、ご葬儀等の席上などにてホストライオンズクラブを通じて感謝状の贈呈を行い、敬意を表するとともに、弔電、花輪或いは香典をお供えして弔意を表明した。また、同様の方法により厚生労働大臣感謝状に供物を添えて遺族に伝達した。

- ①献眼者 24名（厚労大臣感謝状22名）
- ②献腎者(脳死提供含む) 1名（ ” 0名）

2. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

1) 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

献眼に係る啓発活動については、主として「献眼のあっせん事業」において実践し、その他の臓器等に対する一般県民に対する普及啓発活動をこの事業の中で実施した。

①一般県民に対する普及啓発活動

ア パネル等啓発グッズの作成とその貸し出し等を行った。

広島県臓器移植コーディネーターが地域の健康祭り等にパネル等啓発グッズの貸し出しとともに、自ら出向き臓器提供・移植に関する啓発活動に従事した。 7回

ママまつり (5/26)、全国移植者スポーツ大会(9/19)、
府中市民健康福祉まつり(10/3)、三原市民健康福祉まつり(10/24)、
東広島生涯学習フェスティバル(11/7)、おのみち市民健康まつり(11/8)、
腎友会主催市民公開講座(1/31)、

イ 出前講座により、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植に関する説明を行い移植医療の普及啓発を行った。13回

広島国際大学(4/1)、広島市医師会看護専門学校(4/21)、
三原看護専門学校(7/24) 広島市中区医師会病診連携総会(10/7)
尾道市医師会看護専門学校(11/9)、進徳女子高等学校(1/8)
呉共済病院看護専門学校(1/15)、高陽東高等学校(2/8)
江能准看護学院(2/20)、修道中学校(2/27)、
皆実高等学校専攻科(3/3)、皆実高等学校看護科(3/4)、
広島県立三次看護専門学校(3/11)

ウ 厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した

「臓器移植対策推進功労者」(厚生労働大臣)

沖 修一 ひろしまドナーバンク評議員(荒木脳神経外科病院院長)

エ ひろしま平和マラソンへの参加

ドナー、レシピエントが「ひろしま平和マラソン」に参加し完走することによって、移植医療への理解と啓発活動を行い、ほか主催者の協力のもとブースの設置を許可していただき、JOTのマスコットとともにパンフレット等の啓発グッズを配布した。

○平成27年11月3日(火・祝)エディオンスタジアムにて

「第1回移植者と走るひろしま平和マラソン」

オ その他の啓発活動

i 献眼及び臓器提供・移植に関するドナーバンク支援自販機を積極的に設置して頂くことにより、ポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行っているが、本年に入り設置台数が5台減少するなか、新たに

「広島県医師会館」へ1台、「広島大学病院内」へ1台、「市立三次中央病院」へ2台増設していただき、21台の設置となった。

ii マスコミを通じての普及啓発活動も実施した。

特に広島県臓器移植コーディネーター等が、マスコミからの取材、テレビ新広島（TSS）には、臓器移植に関する放送などの取材訪問を受けた。そのほか、移植医療に関する放送の際には、広島県臓器移植コーディネーターが必要な助言を行った。

◎テレビ新広島（TSS）

○平成27年 5月10日

骨髄バンク全国キャラバン・登録会（献血ルームピース）

○平成27年 9月 19日・20日

全国移植者スポーツ大会（尾道びんご運動公園）

○平成27年10月 4日

骨髄バンク登録キャンペーン（イオンモール広島府中）

○平成27年11月 3日

ひろしま平和マラソン（エディオンスタジアム）

「第1回移植者と走るひろしま平和マラソン」

②啓発用のポスター及びパンフレット等の作成及び配布

公社）日本臓器移植ネットワーク並びに公財）日本骨髄バンクから提供を受けたポスター、パンフレット等の配布や、新たにタクシー会社、観光バスに貼付するステッカーの配布により啓発活動を展開した。

ア 「臓器提供意思表示カード」の配布 470部

イ 「グリーンリボンドライバーステッカー」の配布 400枚

ウ 移植医療に関する啓発グッズの改訂或いは作成して関係方面に配布するほか、一部手製の献眼並びに骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ資料を作成し提供した。

③普及啓発行事の開催・参加

10月の骨髄バンク普及推進月間行事では、広島カープ球団からマスコット「スライリー」の協力やボランティア団体と連携し、移植医療の推進に係る活動を展開した。

ア 例年同様、広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し、最終日には骨髄ドナー登録会を実施した。

- と き：平成27年 9月28日（月）～10月 4日（日）
- と ころ：イオンモール広島府中 1階 ディズニーストア前広場
- 内 容：パネル展、ボランティアおよびスライリーによる風船及び
チラシを挟んだティッシュの配布、集団登録会（新規登録者15名）

2) 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業 (定款第4条第7号)

本事業のうち、特に造血幹細胞移植の推進のため、広島県骨髄データセンター（広島県赤十字血液センター）、広島県、広島市と患者家族の会「つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会『しずく』」などボランティア団体等と連携し、骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

① 説明員養成研修会並びに実施研修会を開催し、広島国際大学しずくから新たに25名の方に説明員資格を取得して頂き、活動に関する説明を行った。

ア 養成研修会 (6/18) 実地研修会 (適宜開催)

イ 養成研修会 (2/12) 実地研修会 (適宜開催)

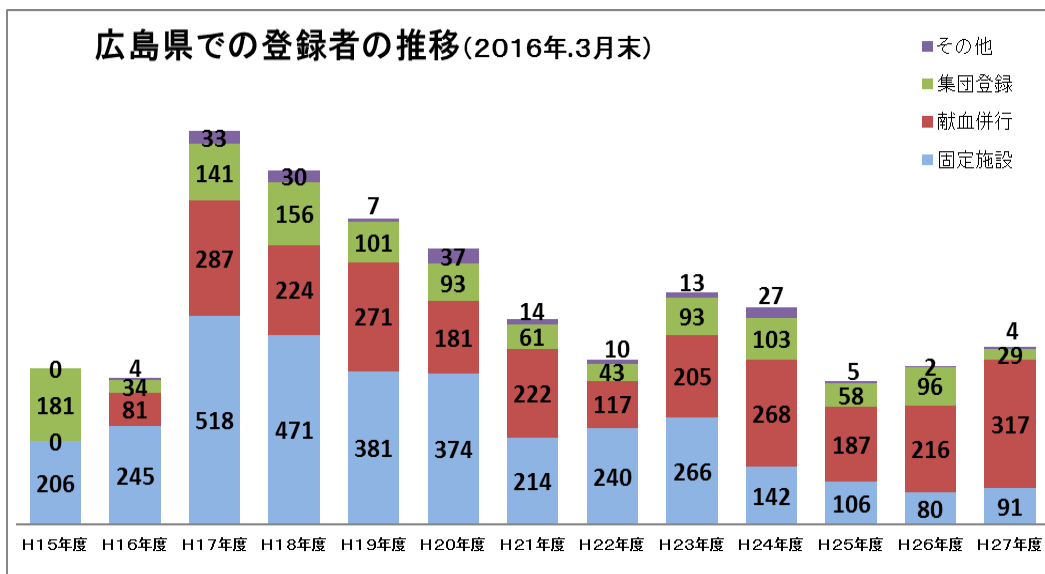
② 説明員養成研修会を開催し、山陽女子短期大学から新たに14名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会 (12/14) 実地研修会 (適宜開催)

③ 骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財) 日本骨髄バンク等が主体として、実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、骨髄ドナー登録会を開催した。(平成27年度)

登 録 会		回 数	登 録 者
事 前 説 明 会	昨年度	0回	0名
	本年度	1回	0名
集 団 登 録 会	昨年度	5回	96名
	本年度	3回	29名
献 血 併 行 型 登 録 会	昨年度	29回	216名
	本年度	32回	303名
合 計	昨年度	34回	312名
	本年度	36回	332名



④ 骨髄提供・移植に関する普及啓発活動を行った。

ア 出前講座の実施

説明員等が個人的に実施している活動に加えて、当バンク主体での活動を行った。

○比治山大学(6/18) ○広島国際大学(6/18)

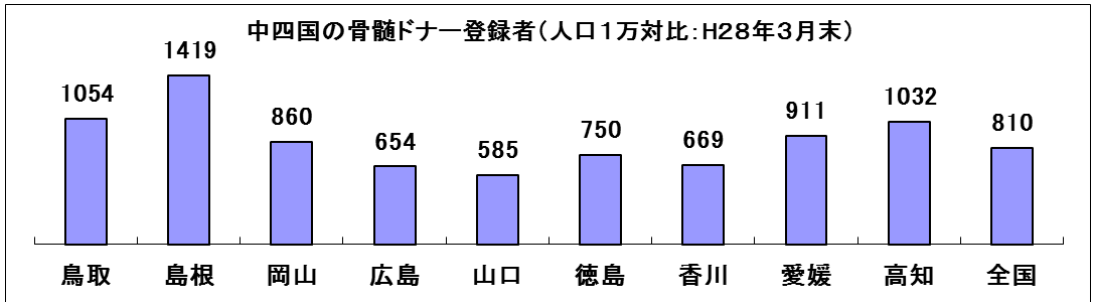
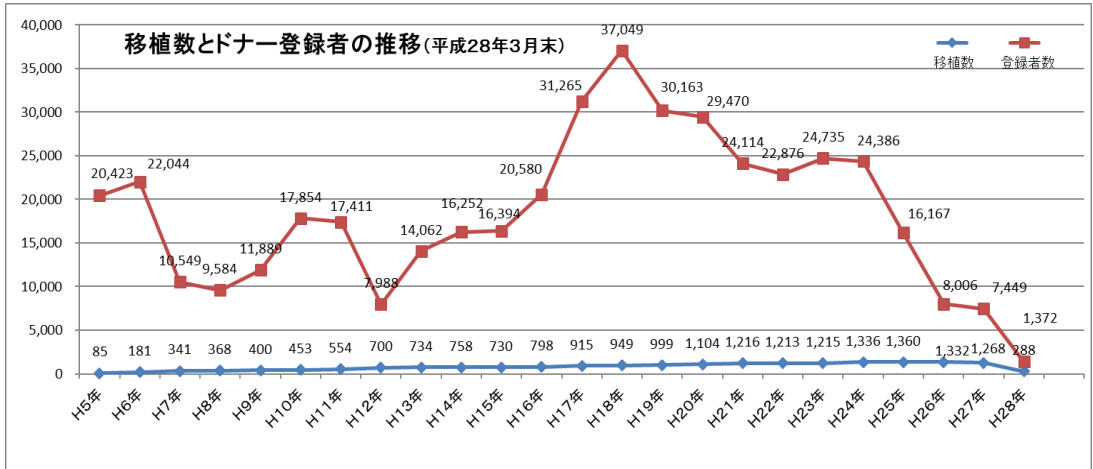
○山陽女子短期大学(12/14)

◆骨髄ドナー登録者(平成28年3月末現在) 新規登録者285名

区分	全 国	広 島 県	
		実 数	人口1万対比
ドナー登録者数	458,352 (81.0)	7,941 (全国第18位)	65.4 (全国第32位)
患者登録者数	3,242 (国内1,453)	37 (全国第13位)	
骨髄移植者数 (財団発足後累計)	19,297 (国内19,039)	553 (全国第10位)	
骨髄提供者数 (財団発足後累計)	19,304 (国内19,120)	501 (全国第12位)	

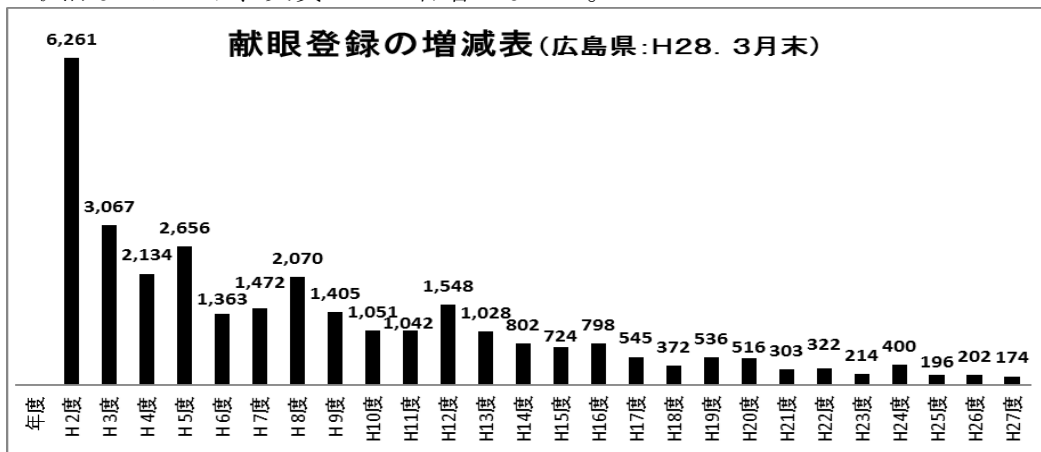
注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

◆全国及び中四国地方との比較



3) 献眼登録者の登録業務

ライオンズクラブ等が実施した献眼推進運動により送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「献眼登録カード」を送付した。平成27年度の新規登録者は、368名であるものの、死亡・取消などにより、実質174名増となった。



3. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

1) 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業 (定款第4条第7号)

ア 献腎及び多臓器移植の推進

一般県民の臓器移植に関わる意識の醸成と同時に、医師・看護師等医療関係者の理解と協力が不可欠であることから、広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら臓器移植推進に取り組んだ。

特に、臓器移植医療の今後の方針や対策を検討、普及啓発の推進に取り組むために、院内コーディネーターを設置している医療機関へのアンケート調査を行った結果のフィードバックを行った。

そのほか出前講座のチラシを新たに作成し、行政の協力のもと県下の学校等に配布する取り組みを強化し普及啓発活動を行った。

◆献腎登録者 9,076名 (38名減)

前年度末登録者数	9,114名
新規登録者数	1名
献腎者数	1名
取消数(転出・死亡等)	38名
3月末登録者数	9,076名

イ 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

広島県臓器移植コーディネーターが臓器提供施設等を定期的に訪問し、ドナー情報の収集を図り、具体的な臓器提供情報を得た際には提供に向けての必要な対応に従事した。

i 訪問施設 22施設

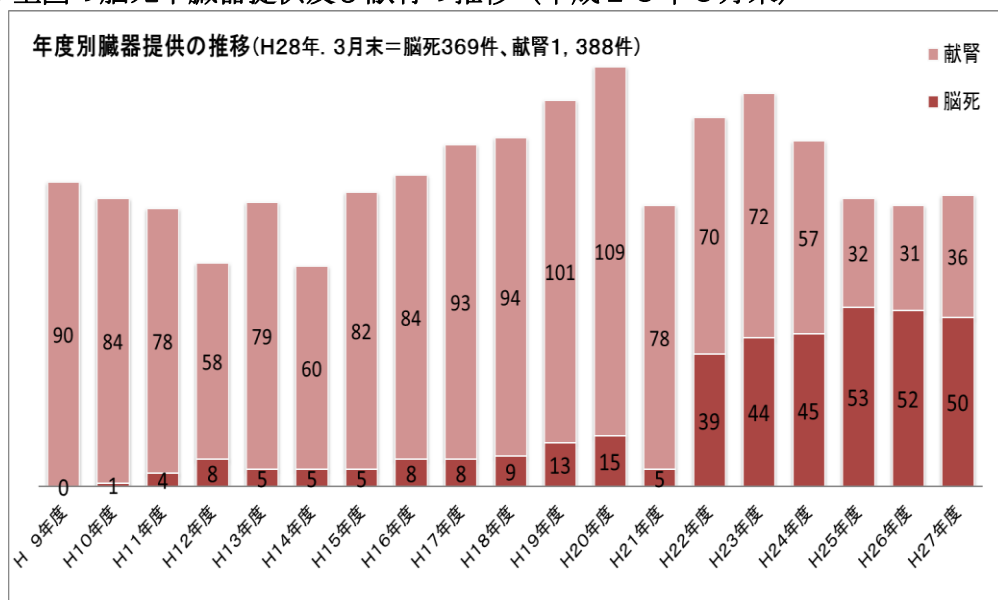
広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、安佐市民病院、梶川病院、マツダ病院、広島赤十字・原爆病院、荒木脳神経外科病院、一ノ瀬病院、呉医療センター、呉共済病院、中国労災病院、福山市民病院、大田記念病院、尾道市民病院、尾道総合病院、広島総合病院、東広島医療センター、市立三次中央病院、寺岡記念病院、興生総合病院、土谷総合病院

ii 訪問総数 52回

iii 情報提供数 2件

- iv 臓器提供数（献腎を含む） 1 件
- v 献腎移植 0 件

◆全国の脳死下臓器提供及び献腎の推移（平成28年3月末）



◆全国及び中四国地方での臓器提供数等（平成28年3月末）

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		献腎待機患者数 (H28.1.4)
	献腎	脳死	献腎	脳死	献腎	脳死	献腎	脳死	
全国	多臓器	45	53	52	50				
	献腎	57	32	31	36			12,825	
鳥取県	0	0	0	0	1	0	0	1	36
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	39
岡山県	2	0	1	1	1	0	0	2	198
広島県	1	1	2	1	2	1	0	1	276
山口県	3	0	1	1	1	0	0	1	109
徳島県	1	1	0	0	0	0	0	0	87
香川県	3	2	0	1	0	0	0	1	146
愛媛県	0	0	0	0	0	1	0	0	111
高知県	1	0	0	1	0	0	0	0	59
中四国計	11	4	4	5	5	2	0	6	1,061

ウ 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

- i 広島県臓器提供施設協議会（11/10） 1 回
（院内コーディネーター研修会合同開催）
- ii 院内コーディネーター研修会（6/10・11/10・3/10） 2 回
- iii 臓器提供施設事務担当者研修会（9/11） 1 回

iv 院内研修会 5回
(福山市民病院・広島総合病院・三原医師会病院・梶川病院・尾道市民病院)

v 臨床検査技師対象研修会 2回
(東部：尾道市民病院、西部：広島市民病院)

vi 新人職員研修 1回

エ 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動

- i 院内研修会・勉強会への支援・協力
- ii 臓器提供マニュアル作成、臓器提供シミュレーション実施への協力
- iii 病院機能評価に係る臓器提供に関する説明 ほか

オ コーディネーター研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが公社)日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催する研修会、学会等に参加し、最新の移植情報の収集と資質の向上に努めた。また、院内コーディネーターの技能向上のために、本人の申請のもと2名を関連の研修会に派遣した。

- i 日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会 (東京・大阪) 2回
- ii 中国四国コーディネーター会議 (高松・岡山・東京) 3回
- iii ドナーファミリーの集い (東京) 1回
- iv 中国四国臨床臓器移植研究会 (大阪) 1回
- v 脳死下臓器提供施設研修会 1回

カ 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

平成28年3月に臓器提供事例が発生し、広島県臓器移植コーディネーターが中心となって、公社)日本臓器移植ネットワークの指導のもと、院内コーディネーターとともにスムーズな提供に資するため次のような業務に従事した。また平成27年12月には西日本エリアにおいて脳死臓器提供事例が3件同時に発生したため、当バンク所属のコーディネーターが山口県に出向き業務支援した。

- i 臓器提供可能家族への移植医療の意義等についての説明に従事。
- ii 院外の摘出チーム及び移植チーム、県警、児童相談所等との調整に従事。
- iii 摘出腎臓の搬送業務に従事。
- iv 臓器提供に協力した施設及びドナー家族への事後報告及び移植者の経過報告等の実施。
- v 検体搬送
- vi 脳死下臓器提供症例隣県支援

キ 腎移植希望者の登録及び更新受付業務への協力

献腎移植希望者の登録等については、公社)日本臓器移植ネットワークにおいて行うこととされているが、当バンクとしても広島県臓器移植コーディネーターの業務の中で必要な協力を行った。

2) 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業

(定款第4条第5号)

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医師等との連絡調整を行った。

- (1) 角膜移植希望者の登録に関する打ち合わせ
- (2) 臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- (3) 臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- (4) 骨髄ドナー登録に関する打合せ